

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－35

| | |
|---|---|
| 学校名・団体名 | 上田市立塩田西小学校 |
| HPアドレス | http://www.school.unic.jp/shiodanishi/ |
| コース | 学校支援 |
| 活動・研究の テーマ | 被災地の森をよみがえらせるための “ゆめの森”の活用 |
| <p>〈活動・研究の意義目的〉</p> <p>2001年に開設された学校林（ゆめの森）は、生活科や理科の授業、総合的な学習の時間に利用されてきた。しかし、10年以上の年月がたち、荒れてきてしまった。3年生が東日本大震災の復興支援として、長野大学環境ツーリズム学部の学生と共に「たねぷろじえくと」（宮城県の被災地より採取した広葉樹の種子をまき、苗に育てたものを、再び被災地に植栽する活動）を行っている。昨年度は、宮城県の植栽予定地に赴き、現地の小学生と交流したり、被害の様子を自分たちの目で確かめた。今年度は、1年生の時にまいたミズナラが植林できるまでに成長し、被災地の“森の防波堤”に植栽する。この活動を通して、自然に恵まれた信州の学校だからできる復興支援を進めるとともに、ゆめの森をさらに活用し維持することを目的とした。</p> | |

1 活動内容

①平成27年度 第1回 たねぶろじえくと (4月21日)

- ・最初に、3年生が1年生の時に植え(ゆめの森で)育てているドングリの苗を植える宮城県山元町の最新の様子を写真で確認した。昨年、交流した坂元小学校・白石第二小学校のドングリを育てる活動の様子や昨年、見学してきた植樹予定地の最新の様子を映像で見せてもらった。
- ・4つのグループに分かれ、(大学生と一緒に)昨年の秋に、山元町から拾ってきたドングリをペットボトルの鉢にまいた。もう何回もまいてきたので、作業は短時間で済んだ。
- ・今日まいたコナラのドングリが植樹できるようになるまで育つのは、6年生の時であるという話を聞き、宮城県の防風林を復活させるお手伝いは時間がかかることを改めて知った。

②第1回 ゆめの森クラブ

- ・今年、ゆめの森(学校林)を活用するクラブとして新しく発足した。毎回、自然インストラクターの方2名に来ていただき、草木を使ってゆめの森で遊んだ。11月26日の最終クラブまで、11回の活動を行った。ゆめの森に生えている竹を使ってトロッコを作ったり、木々の間にロープを張りめぐらし、ターザンロープを作ったり、ヤダケを材料に秘密基地を作ったりして遊んだ。ゆめの森のわきを流れる迫開沢川で釣り(ゲンジボタルの餌になるカワニナを食べてしまうブルーギル撲滅作戦)も楽しんだ。

③平成27年度 第2回 たねぶろじえくと (7月10日)

- ・大学生18名とコナラ林の役割など学習した。コナラ林について学ぶクイズ、コナラ林の紙芝居など。
- ・ドングリの芽生えの観察とスケッチ。「どんぐりころころレース」などのレクを通して、今年の学生と親しんだ。苗木の植え替えについての説明を聞く。時間の関係で植え替えは大学生が行う。
- ・ふりかえりとして、おさらいクイズ。

④ゆめの森クラブ見学(11月12日)

- ・4年生から始まるクラブの見学会が行われ、3年生は、ゆめの森を活用して自然遊びをしたり、小屋づくりをしているゆめの森クラブを見学する。大きな木を利用したブランコなどで楽しんだ。
- ・ゆめの森クラブでは、4年生から6年生142名が5月11日から11月26日まで、11回活動した。

⑤平成27年度 第3回 たねぶろじえくと (11月20日)

- ・まず、大学生から出題されたいろいろなクイズを通して、コナラ林の役割やはたらきについて学んだ。
- ・今年、大学生が山元町から拾ってきたドングリをペットボトル鉢を作り、そこに植えた。山元町に“森の防波堤”を復活させるには、まだまだ、たくさんのドングリの苗が必要であり、毎年毎年、たくさんの種をまかなければならないことを知ることができた。
- ・3月の植樹交流会で、植樹できそうなドングリの苗の選別。苗の育ち具合から、大学生に選別してもらった。

⑥ゆめの森に生息する生物調査・ゆめの森の整備(職員:通年)

- ・ゆめの森に生息するけものたちや野鳥を赤外線センサーカメラ(デジタルカメラ仕様)を使って撮影し、校長講話や校長室だよりで子どもたちに紹介した。子どもたちが、ゆめの森にさらに興味を持つきっかけになった。また、子どもたちが安心して、ゆめの森を利用できるように、登山道の整備など行った。

⑦宮城県山元町での植樹交流会(2016年3月19日・20日)

- ・3年前にまいたドングリが植樹可能な苗になったので、被災地に再生される“森の防波堤”に植える。
- ・昨年の植樹予定地見学の時に交流した宮城県坂元小学校、白石第二小学校の友だちと一緒に植樹し、交流会をもつ。
- ・スケジュール 3月19日(土) 上田駅9:00(新幹線)ー白石蔵王駅発(マイクロバス) 13:00ー宿舎着14:00 自然学習など(泊) 3月20日(日) 宿舎発8:00ー植樹と交流会9:00ー山元町発14:30ー白石蔵王駅着15:30(新幹線) 上田着18:00頃→八木沢駅

写真 左から、ドングリのたねまき(11/20)、3月に植樹するコナラの苗、ゆめの森クラブ秘密基地作り(11/12)、植樹予定地(26年10月の見学会より)



写真 左から、ゆめの森に現れたキツネとハクビシン（赤外線センサーカメラで撮影） 定期的に整備した
ゆめの森の登山道



2 成果

塩田西小学校の子どもたちは、全員がみどりの少年団に加盟し、学年に応じて、シイタケ栽培や植林活動、ゆめの森での体験活動、コカリナ作りなど行ってきた。これらの活動は、本校の伝統的な活動のひとつである。それが「たねぷろじえくと」の活動と融合し、津波被害の大きかった山元町の「いのちを守る森の防潮堤」作りのお手伝いにつながってきた。3学年の活動であるが、昨年度(平成26年10月)の現地見学会では、5年生、6年生、中学生の参加があった。保護者もこの活動の意義を知り、是非、協力を続けたいと強く思った。この活動をさらに全校のもの、この地域のものに広げていきたい。

3月19日・20日の植樹交流会では、三年間丹精込めて育ててきたコナラの苗を、同じ目的で苗を育ててきた地元の小学生と協力して植えることができる。大きな感動を味わわせてあげたい。あわせて緑の良さや大切さ、回復までに時間がかかることなど感じさせたい。

また、本年度は自然観察ボランティアの方々の協力で、ゆめの森の自然を活かして活動する「ゆめの森クラブ」を発足させることができた。それにより、子どもたちがゆめの森に関わる機会、触れる機会を多くすることができた。学校の目の前にあるゆめの森をさらに活用し、そのすばらしさを感じさせたい。